

水辺再生100プラン推進工事（伝右川河道整備工その3）

現場代理人 小林啓介

—— 現場から発信する防犯活動で
この地域の人々が安心できる様な、
そんな現場づくりをしています。



—— 工事の概要を教えてください

伝右川の親水性を高めることを目的とした工事です。簡単に言うと、汚れた河川をきれいにし、川の水辺に降りたり、散歩したりできるようにする工事ですね。

埼玉県が今取り組んでいる水辺再生100プランという、県内100箇所で「川の国埼玉 川の基本方針」に示された「清流の復活」「安らぎとにぎわいの空間創出」目指した事業目指した整備のひとつです。



—— 社会・地域貢献の取り組みは

3. 11の東日本大震災以降、現場から地域に貢献できることはないかをずっと考えていました。結果的に、地域の人々が、いざというときに誰でも使える土のうを用意して現場の前にストックしています。「ご自由にお使いください」って看板立てて。地域の人々が身近に心配している伝右川の増水に対応できるかなと。

また、この現場は小学校の通学路ということもあり「青色防犯灯」の設置と「子ども110番」を現場全体で実施しています。あまり良

くないデータですが、川口市は、「子どもへの声かけ事案」が県内ワースト1ということです。この現場でできる防犯はちっぽけなことかもしれませんが、現場から発信する防犯活動で、この地域の人々が安心して暮らせるようになってくれればという思いでやっています。その成果あって、最近よく通学することもたちの方から声を掛けてくれます。



—— 地域に対して心掛けていることは

近隣住民とのコミュニケーションを大切にしています。ガードマン（誘導員）さんを筆頭に、現場全体でコミュニケーションを図るよう雰囲気作りをしていますね。先日も近隣の方から、「道路規制の看板をもっとわかりやすく出してくれたら」という要望がありました。自分たちはやっているつもりでも、気がつかなかった点を素直に言っていただけるのは工事を監督する上で貴重なことです。次の日から毎日かならず看板の出す位置についてみんなで考えるようになりました。



—— 中原建設(株)の現場の特徴は

う〜ん、なんて言うんでしょうか、現場監督は同年代（30代半ば）が多く、エネルギーがある現場が多いのではないのでしょうか。現場の雰囲気が良く、生き生きとしている。だから、造るものもいいものが出来上がる。

それから、見えない部分にこだわるところですね。出来上がって見える部分が綺麗なことは当たり前として、隠れてしまう基礎の部分だったり、埋め戻しの土だったり。土木の基本的な部分をしっかりやる会社だと思います。

—— 最後に地域の皆様に向けてメッセージを

まず、本日まで、この現場に対するご理解、ご協力を頂いていますことを誠に感謝いたします。

私たちは、地域の生活環境が良くなるよう、一生懸命この工事を施工させていただいております。工事期間中は、重機の稼働や交通規制により皆様にご迷惑をおかけしてしまうこともありますが、その分、工事期間中に皆様に対して貢献できることを精一杯させていただきます。また、より良い品質のものをこの地域に造っていきますので、残りもう少しの工事期間ですが、何卒よろしくお願い致します。



小林 啓介（こばやしけいすけ）

平成8年入社。工事グループ所属。

大宮東京線の街路築造工事や、川口駅西口のデッキなど数多くの現場を施工。また、新都心西出入口付替その他工事（首都高速道路公団）優秀工事表彰、浦和東部第二地区 U-5-3 工区外整地他工事（都市再生機構）優良工事表彰など、発注者からの評価が高い。

座右の銘は『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』